

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	多摩区第3グループ(菅・中野島・南菅)	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	子ども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	多摩区子ども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 菅子ども文化センター</p> <p>①年間延べ利用者数 25,609人 ②年間延べ利用団体数 697団体</p> <p>2 菅小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 324人 ②年間延べ利用者数 15,986人</p> <p>3 東菅小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 236人 ②年間延べ利用者数 16,022人</p> <p>1 中野島子ども文化センター</p> <p>①年間延べ利用者数 34,646人 ②年間延べ利用団体数 853団体</p> <p>2 中野島小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 343人 ②年間延べ利用者数 17,388人</p> <p>3 下布田小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 219人 ②年間延べ利用者数 11,904人</p> <p>1 南菅子ども文化センター</p> <p>①年間延べ利用者数 23,321人 ②年間延べ利用団体数 563団体</p> <p>2 南菅小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 170人 ②年間延べ利用者数 7,924人</p> <p>3 西菅小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 139人 ②年間延べ利用者数 9,818人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 155,114,023</p> <p>2 支出 人件費 133,930,982 事務費 12,123,190 事業費 9,677,491 その他経費 141,510 合計 155,873,173</p> <p>3 差引 -759,150</p>
サービス向上の取組	豊かな人間性・社会性を育むために、利用者が安全・安心かつ楽しく過ごせる場所を確保し、行事の企画にアンケート結果を反映させる等利用者の目線に立ったサービス向上を図っている。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、子ども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		子ども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 第3グループの合同行事は「チャレンジ2013」等を開催し、仲間作りの場を創出した。菅子ども文化センターでは、農地が広がる地域特性を活かしてじゃがいも堀を実施し、自然との共生意識を育んだ。菅及び中野島子ども文化センターでは、多摩区役所子ども支援室と共催で「ママとあそぼう/ハバもね」を開催した。南菅子ども文化センターでは、乳幼児を対象とした「きらきらKIDSまなみっこ」の開催は、乳幼児親子と中学生の交流を図り、利用者が前年より15%増の効果があった。これらから、概ね事業計画に基づく事業成果を達成できた。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費縮減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
(評価の理由) 会計処理及び金銭管理について適切に処理されている。また、消耗品や備品購入などを精査し、最小限に抑えるなど、経費縮減に取り組んでいる。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	子ども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	3	6
<p>(評価の理由) 利用者の目線に立ってサービスの向上を図るため、子ども文化センターでは毎月の「運営会議」で子どものニーズ把握や成人に対して平日や夜間での利用をすすめる等を行った。わくわくプラザでは年3回の「保護者懇談会」の開催や、子どもの送迎時に保護者に積極的に声かけを行い信頼関係の構築に努め、行事への参加要請等を行った。行事の実施においては、地域の小・中・高及びPTA等との協力を得て実施し、「みんなでおもちつき」等地域と一体となった行事を実施することができた。これらの事実から、概ねサービス向上及び業務改善は図られていると評価した。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		子ども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) 子ども文化センターでは、職員2名で対応しているが、利用者の増加等に対して柔軟な対応をとることができた。わくわくプラザでは、職員4名で対応し、利用児童数が20名増加ごとにスタッフ1名を増員を図った。職員のスキルアップを図るため外部機関等と連携した研修を実施し、児童厚生一級及び二級の資格取得に繋げた。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 小学校校外委員と連携して「子ども110番」の取組みや、「地域安全マップ」の作成に協力した他、マニュアルに基づいた、開館の点検や施設を維持に努めている。衛生管理についてはマニュアルや川崎市の指導に基づき、消毒等所要の措置を講じている。防災体制については、マニュアルに基づいた緊急時の対応強化を図っている。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	65	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理者(公益財団法人かわさき市民活動センター)のスケールメリットを活かした人員配置、経費削減、また、公益財団法人としての収支相償の会計原則の厳守による剰余金での環境整備など、運営面においては安定的な執行がなされている。

また、各館が培ってきた地域住民や関係機関との連携も非常に良好で、今後も地域一体となった運営が期待できる。

さらに、利用者の安全や災害時の対応に配慮した備えを常に準備しており、適正な業務を遂行している。

第3グループでは、野外・スポーツ・文化的活動で健康増進・仲間の団結意識を強化や、農地が多い等地域特性を活かした自然との共生を図るなど地域の中の施設として信頼を得るよう努めている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

わくわくプラザにおいては、利用人員の増加など環境が厳しい施設もあるため、安全等に十分配慮した運営を心がけること。

また、引き続き、利用者のニーズ等に応じて、サービス向上に努めるなど楽しさや信頼感あふれる運営を図るよう要請する。